

平成 31 年度 浜崎小学校教育目標

学び合い 共に遊び 励む 意欲あふれる浜崎っ子の育成

— やればできる 今日も来てよかった浜崎小学校 —

学校は、信頼と互助に結ばれ、安心して暮らせる活気ある場所でなければならない。我々おとなの役割は、子どもを慈しみ、かつ、鍛える存在であり、そこには「愛」が必要である。

また、「意欲あふれる浜崎っ子」を育てるための基盤は、自分自身に対する自信である。学校生活のあらゆる場で、「できた」「わかった」という成功体験を積み重ねること、友だちとの関係の中で自尊感情、自己有用感を高めていくことが必要である。そして、子どもたち一人ひとりが、「学校は楽しい」と心から思える学校づくりをめざす。

子どもに自信を	やる気と愛のある教師に	楽しい 美しい学校に
一人ひとりに “やればできる”の 自信を育てよう	子どもを愛し、 “協働”と“切磋琢磨”を する教師になろう	環境を整え、 “登校するのが楽しくなる” 美しい学校にしよう
— 三つの愛を意識して — ① 「先生の話をよく聞いて、勉強を頑張ること」(学び愛) ② 「心のやさしい人になること」(思い愛) ③ 「病気に負けない強い体をつくること」(鍛え愛)		

今年度の重点 ⇒ キーワードは、「継続と徹底」

- (1) 確かな学力と自信を育てる教育の推進（学力向上アクションプラン）
 - ・ 算数科を中心に楽しい授業、分かる授業の創造。ICT利活用を通して。
- (2) 人間関係づくりの基盤としてのあいさつ運動
 - ・ あいさつ一番！
「おはようございます。」「いただきます。」「ありがとうございます。」
「ありがとう」は、心の栄養
- (3) 全職員が学校経営参画の意識をもち、学校改善、業務改善を図る。
 - ・ 自己目標（PDCA）と学校目標を連動させ、組織としての目標を明確化。
 - ・ 組織的かつ個人的に業務改善を図り、年休取得増・時間外の縮減につなげる
- (4) 保護者・地域との連携を推進し、信頼される学校づくりに努める。
 - ・ 学校便り、HP等による情報発信、地域行事・育友会行事への積極的参加
 - ・ 幼保小の連携
 - ・ 学習習慣・生活習慣の確立（「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣化、「ノーテレビ・ノーゲームの日」の推進、家庭学習時間「学年×10分+10分」の確保、全校児童欠席「0」の日・皆勤賞を増やす。）